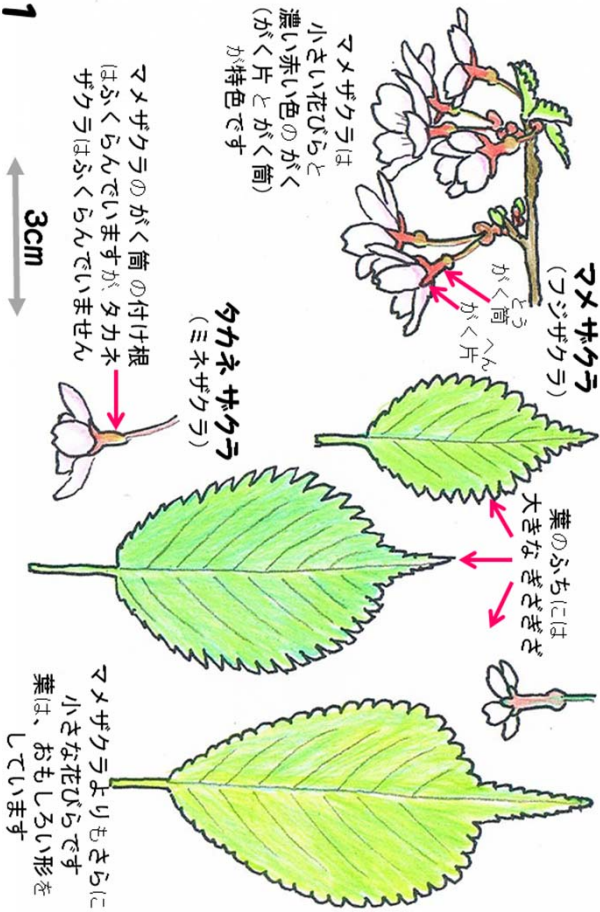


山頂の標高:1491m・1567m・1673m

# 春の塔ノ岳・丹沢山・蛭ヶ岳

とうのだけ たんざわさん ひるがたけ

## 百名山自然ガイド 丹沢



クマザクラ

### 花を似ている花

**春の丹沢には：マメザクラ(フジザクラ)がいっぱい**

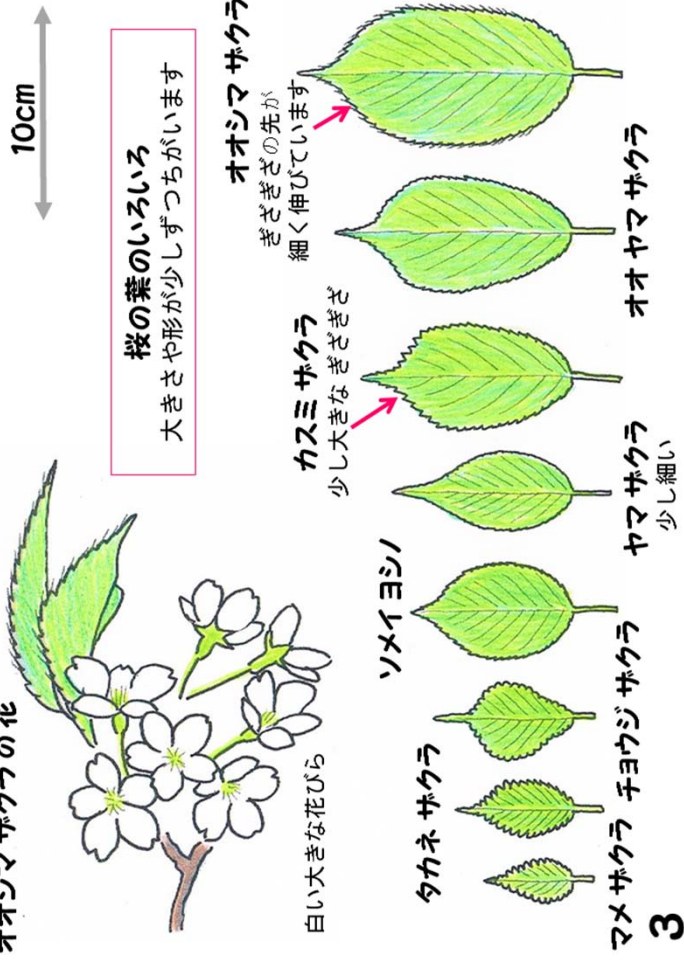
○丹沢の春を代表する花といえば、まず名前をあげたいのはマメザクラです。春、丹沢の山道では、枝いっぱい花をつけたマメザクラが私たちを迎えてくれます。マメザクラは丹沢や富士、箱根などでよく見られる桜(さくら)の木で、フジザクラという名前でも呼ばれます。

○マメザクラの花は、主に下向きに咲きます。花びらの後にある「がく」と呼ばれる部分は濃い赤い色をしていて、その色は、うすいピンクの花びらの色と合わせて、印象的です。

○マメザクラは、木も花も小ぶりです。花びらの大きさはさしわたし1cmくらいで、街(まち)に植えられているソメイヨシノの半分くらいです。他の木が育ちにくい岩場などにも生えています。そういう所では背が低かったり、幹(みき)が細くて斜めに傾いていたりします。

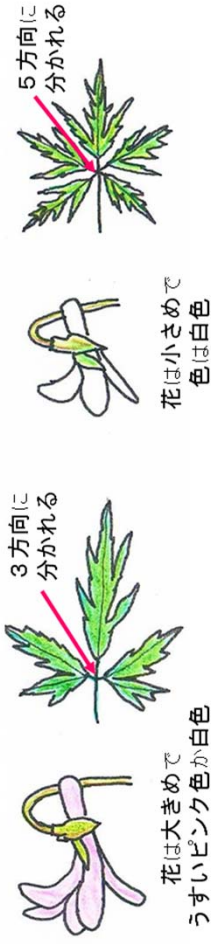
○マメザクラの満開は、ふもとではソメイヨシノとほぼ同じで、3月終わりか4月初めころです。それからだんだん高い所へ場所が移り、年によってずれますが、山頂部の満開は4月終わりか5月初めころです。

オオシマザクラの花



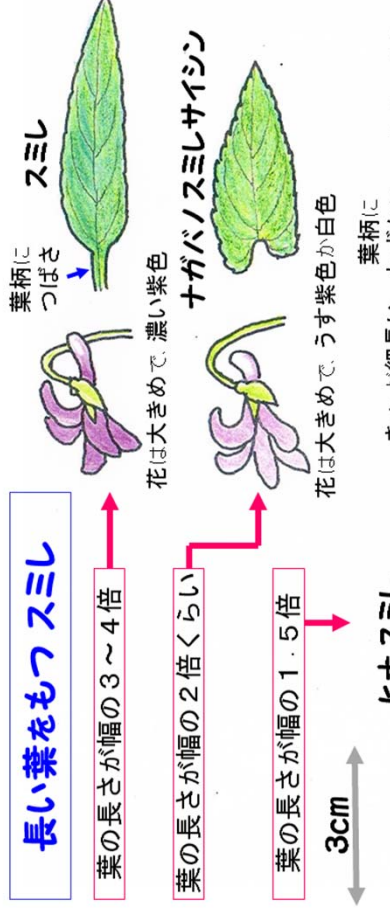
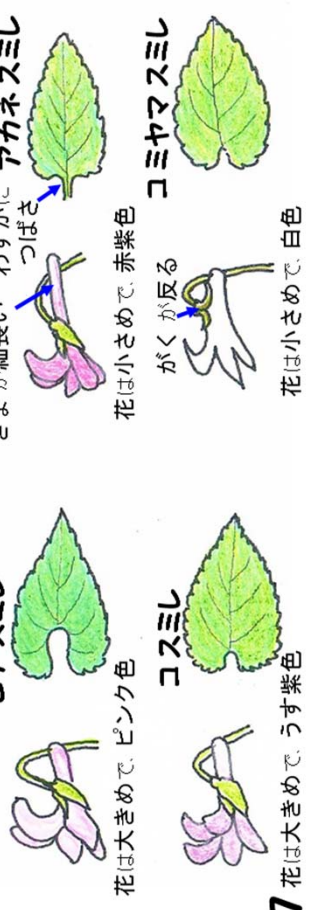
○丹沢の山道では、エイサンスミシも所々で見かけます。ピンク色や白い色の花をつけ、春先の葉は、細かく入り組んでいるのが特ちょうです。

○同じように入り組んだ葉を春先にもつものにヒゴスミシがあります。少し小ぶりの白い花をつけ、葉が、付け根のところを5つに分かれています。エイサンスミシの葉は、付け根ではまず3つに分かれているので、そこが、ヒゴスミシとの大きな違いです。



**細かく分かれた葉のスミシ**

丹沢で見ることができそうなスミシを14種類選んでみました。見られないスミシの花に出会ったら、葉の形や花の色を比べてみてください。



**丹沢に咲くもう一つの桜(さくら)：オオシマサクラ**

○春の丹沢では、たくさん白い花をつけたオオシマサクラの木も目につきます。花も葉も大きく、花びらのさしわたしは、2cmくらいあります。丹沢の山道に桜の花びらが落ちていたら、その大きさが1cmくらいならオオシマサクラ、2cmくらいあればオオシマサクラと思つてよいかもしれません。

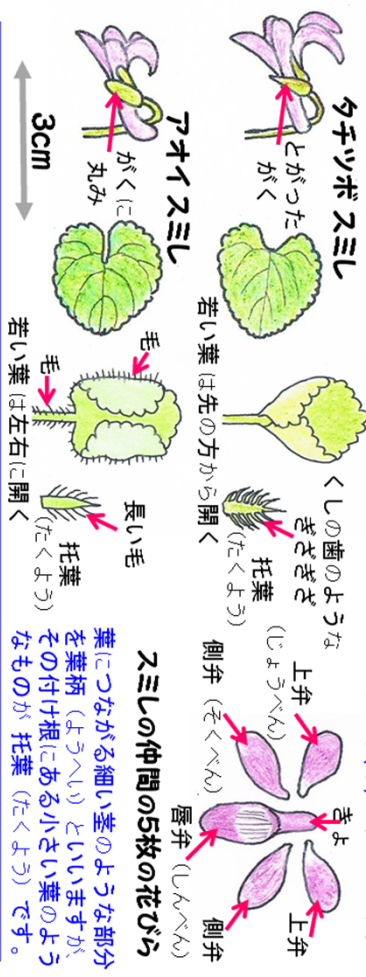
○オオシマサクラは、花が咲いている間に緑色の若葉がどんどん大きくなります。その葉は、先がとがった卵形で、ふちがぎざぎざになっていて、さらに、ぎざぎざの先が糸のように細く伸びています。

○オオシマサクラは、伊豆大島や伊豆半島などでよく見られますが、エドヒガンという木とともに、ソメイヨシノを生み出した親の木として有名です。桜餅(さくらもち)を包む葉に利用されていることでも知られています。

○丹沢に咲く桜には、他にツカネサクラ、チヨウジサクラ、ヤマサクラ、カスミサクラ、オオヤマサクラなどもあります。

**タチツボスミシとアオイスミシ**

タチツボスミシとアオイスミシの違い(ちが)いは？



○春の丹沢の山道には、いろいろなスミシの仲間の花も咲いています。中でも目につくのはタチツボスミシで、3月半ばにふもとで咲き始め、桜(さくら)に少し先行して、しだいに高いところへ咲く場所を移します。

○うす紫色のスミシを見たら、ほとんどはタチツボスミシと思われれますが、似た花にアオイスミシがあります。少し小ぶりで、葉のうらにみずみずしい白い毛がたくさん生えています。春早くに咲くことでも知られています。

### ハート形の葉をもつスミシ

**葉の長さは幅とほぼ同じ**

大きめの花が多いけれど  
小さいものも  
うす紫色やうすい青色

**タチツボスミシ**

まっすく、なまきよが多い  
が、上に反るものも

**アオイヌミシ**

花は小さめで、うす紫色  
きよは太めで、上に反る

**ニオイタチツボスミシ**

花は大きめで、うす紫色  
葉は少し長め

**ツボスミシ**  
(ケナルバンスミシ)

花は大きめで、白色  
葉に毛

**シコクスミシ**

花は小さく、白色  
きよは短い

**アカイヌミシ**  
(ニオイヌミシ)

花は小さく、白色  
きよは短い

タチツボスミシには、いろいろ変わったものがあり、オトメスミシ（花びらの色が白、きよはうす紫）、シロバナタチツボスミシ（花全体が白）、アカフラタチツボスミシ（葉脈が赤紫）、ケナタツボスミシ（葉や茎に毛）、ケイレウタチツボスミシ（水につかることがあるような場所）などの名がついています。

3cm

### 見下ろす海、相模湾(さがみわん)

北アメリカプレート 西太平洋の岩盤  
南 塔ノ岳山頂に登ると、南側に相模湾が広がっています。その沖には、伊豆大島がかすんで浮かびます。

### もしも、海の水が無かったら

太平洋プレート  
相模トラフ (相模舟状海盆) このあたりは水深約2000m  
伊豆大島 伊豆半島 箱根山  
北アメリカプレート 北アメリカプレート

○相模湾には、房総(ぼうそう)半島の沖から深い海底谷(かいていこく)がのびてきていて、相模トラフと呼ばれています。谷は伊豆大島の手前を通り、相模湾の西部を北上して小田原方面に上陸し、さらに箱根山の北側を回って、駿河湾(するがわん)の海底谷へつながっていくと考えられます。

○相模湾の海底谷は、東日本の岩盤と西太平洋の岩盤の境目とみなされます。伊豆半島などを乗せた岩盤が、本州へぶつかってきている現場です。

### アゲハチヨウの仲間の

5cm

神奈川県は初め、静岡、愛知、三重にかけての地域のギフチヨウは、黒いすじの幅が広い傾向(けいこう)があります。

アゲハチヨウの仲間の多くは、後のはねにこのような突き出しをもちます。

神奈川県は、ここによく、黒い三日月形の模様(もよう)が出ます。

8

9

11 各地に住んでいますが、近年は数が減り、いなくなる地域も出ています。

**春の女神：丹沢のギンチヨウ**

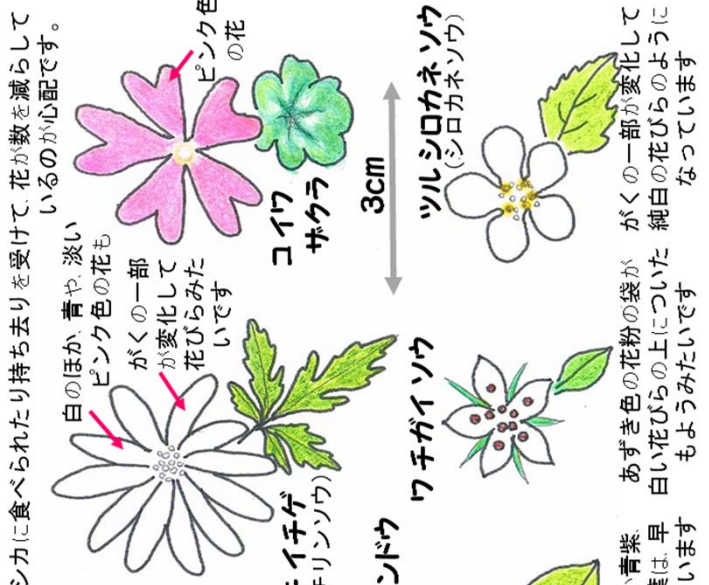
○丹沢山地のふもとやその近くの山林には、ギンチヨウが細々と生きている場所があります。ギンチヨウが住めるのは、春に明るく日光がさす雑木(ゾウキ)林です。そういうところかほとんど無くなってしまった上、ギンチヨウがいることが知られて、採集(さいしゅう)する人が取りつてしまふ場所もありました。

○ギンチヨウは、生まれた場所から遠くへ移動することは、あまりありません。そのため、長年にわたって親から子、孫(まご)へ命をつないでいくうちに、「はね」の模様(もよう)など、それぞれの地方ごとに少しずつ違(ちが)いが見られるようになりました。

○神奈川県内でギンチヨウが住む場所は、ごくわずかになっていいます。さらに、他県から持ち込まれたものが放された場所もあり、神奈川の遺伝子(いでんし)を持つギンチヨウがこれからも生き続けられるかどうか、今のままでは、たいへん心配です。

**春の尾根道の花**

春に咲くリンドウの仲間が3種類、お天気のよい屋間にだけ花を開きます。筒形の花の先が10に分かれ、10枚の花びらのように見えます。

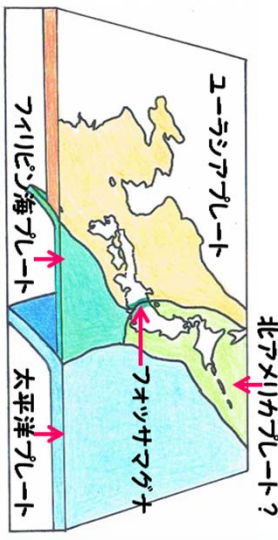


シカに食べられたり持ち去りを受けて、花が数を減らしているのが心配です。

花はうすい青が青紫、根元の大きな葉は、早くに枯れてしまします

花はうすい青が青紫、あずき色の花粉の袋が、がくの一部分が変化して白い花びらの上についた、純白の花びらのようになっていいます

**13** 言う方がふさわしいでしょうか、これには、どんな意味があるのでしょうか?



○神奈川や静岡、山梨の動植物を調べている人の間では、「フオツサマゲン要素」という言葉が使われることがあります。「南部フオツサマゲン要素」と

フオツサマゲンは本州の中ほどにあり、本州を東と西に分けています。2000万〜1500万年くらい昔に日本列島を乗せた岩盤が大陸から切り離された頃、本州を東西に分けるさげ目ができ、やがて火山の溶岩や火山灰、砂、泥などで埋められた所がフオツサマゲンです。比較的新しい時代に陸地になりました。

フオツサマゲン要素と呼ばれたりします。フオツサマゲンは、山歩きの楽しみをいっそう大きくすることの

**フオツサマゲン要素**

「百名山自然ガイド」は、山歩きの楽しみをいっそう大きくすることのお役に立たないかと考えながら、山の美しい自然をいつまでも大切にしたいと願う仲間で作成しています。丹沢では、四季それぞれに分けた案内を下記に掲載しました。機会がありましたら、別冊の丹沢もお訪ねください(http から https へ変更しました)。



https://yama3823.com/100meizan/tanzawa/index.html

なお、いろいろ思い違いもありそうです。間違いにお気づきのときやご感想など、お寄せいただけると嬉しいです。 yama\_3823@yama3823.com (メール送付のときは、添付ファイルはつけないようお願いできるようにしようか)

- 山では、ちよつとした不注意や判断ミスが事故につながります。安全を心がけて、余裕のある計画を立てましょう。
- ほとんどの山で、登山届の提出が求められています。予定のコースや日程を、入山前に届け出ましょう。
- 動植物や岩石の採取等が禁じられている区域がたくさんあります。そうでない場合も、ありのままの自然を大切にしましょう。
- ごみの放置は、生態系に大きな影響を与えます。ごみは、各自で持ち帰りましょう。